

# 保健福祉総合計画策定に向けたワークショップ 開催報告

(参考資料4)

## ■テーマ

### 「みんなで話そう、やさしい福岡の未来 ～保健福祉を考える～」

	第1回	第2回
日付	11月15日(土)	11月19日(水)
参加者数	19名	19名

## ■プログラム

### 1 保健福祉総合計画及び事業の紹介

### 2 グループワーク

#### ① 身の回りの福祉に関する気づき

「良いと思う」と「課題だと思う」ことについて  
自由に意見を出し合う



#### ② 他のグループの話を聞く

メンバーが入れ替わりながら、相互理解を深める



#### ③ 新たなアイデア、気付きをまとめる

他のグループ意見を参考に最初のグループで  
共有・意見交換

### 3 発表



## ■参加者からの主な意見

健康・医療	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康づくりに関するイベントは多いが、注目度が低い</li><li>・要介護状態になる前の予防的取組みを強化すべき</li><li>・病院が多く、どこに行けばいいか分からず</li><li>・生活習慣病について学ぶ機会がない</li><li>・市からの情報が市民まで届いていない</li></ul>
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"><li>・「福岡100」や「認知症フレンドリー」などは活動名がおしゃれで参加しやすいが、当事者の声をもっと理解する工夫が必要</li><li>・都市化により地域にとけ込む手段がない人が孤立している</li><li>・地域を支える人が少ない</li><li>・公民館の仕組みが分かりにくく、使いにくい</li><li>・地域の特色を活かした施策がない</li><li>・地域活動の認知度が低い</li><li>・災害が起きた時の対応が不安</li><li>・相談先が分からない</li></ul>
障がい者 福祉	<ul style="list-style-type: none"><li>・障がいについての情報発信や当事者と交流することが必要</li><li>・音声案内のある横断歩道が少ない</li><li>・公共施設や病院、観光名所に手話通訳者が少ない</li><li>・障がい児の受け入れができる保育園が少ない</li><li>・インクルーシブ教育を進めてほしい</li><li>・夜間対応のサービスが少ない</li><li>・重度障がいがある人が安心して暮らせる取組みの充実が必要</li></ul>
高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"><li>・ふらっと行っておしゃべりできる場がない</li><li>・介護人材不足、介護の魅力発信が課題</li><li>・デジタル技術をうまく使えない高齢者のサポートが必要</li><li>・災害時の対応について、情報共有の場が必要</li><li>・多世代交流の機会が少ない</li><li>・高齢になると耳が聞こえにくくなるので、文字情報でのコミュニケーションができるよう、文字認識装置などが整備されるとよい</li><li>・高齢者や介護に関わる機会が少ない</li></ul>